

憧れ叔父・良太郎



の期待に応える!!

早くレースしたい

デビューは、8月7日の飯塚オート場。33期生の女子7人のうち、金田悠伽と田崎萌が3日に初陣に臨んでおり、約1カ月遅れの初戦となる成績は金田が8着、田崎が8、4着、稲原も「早くレースがしたいですね」と意気込む。

女子ではただ1人、親族にオート選手がいる。叔父の稲原良太郎（37＝山陽）だ。幼稚園の時に川口オート場で初めてオートレースを見て好きになり、03年に良太郎が選手になった時に、あこがれは大きくなっ

(21＝飯塚)

稲原 瑞穂



卒業式でバイクの形をしたサインを持つ稲原瑞穂

◆稲原瑞穂(いなはら・みずほ)1996年(平8)2月28日、山口県生まれ。製造業の会社員から転身。師匠は西村昭紀。趣味はテニス。160・5センチ、58キログラム。血液型B。

た。小学校1年の選択は「大きくなったら野球選手になりたい」ぐらいのレベルか。「すごくかっこよくて、これしかない、と思いました」。

叔父に続くデビューに向け、33期生の応募を即決し、合格。バイクに乗った経験がなかっただけに、養成所の訓練はきつかったが、人生にはプラスにとらえて前を向いた。目標はもちろん、叔父の良太郎だ。実家が近く「妹のような存在」と語る良太郎は、「精神的な面を

重点にアドバイスしたい。ずっと応援します」とデビューを楽しみにしている。叔父の期待に応えるためにも、1走1走を大事に走り、そして今まで学んだことを全力でぶつける。

【天野保彦】